

社会科学習指導案

指導者 山本 昌子

1. 日 時 令和7年11月7日（金） 第5校時（14:00～14:45）
2. 学年・組 第6学年1組（24名）
3. 単元名 明治の国づくりを進めた人々

4. 単元の目標

我が国の歴史上の主な事象について、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べてまとめ、我が国の歴史の展開を考え、表現することを通して、黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化、大日本帝国憲法の発布などを手掛かりに、我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究し、解決しようとする態度を養う。

5. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化、大日本帝国憲法の発布などを理解している。 ②調べたことを年表や文などにまとめ、我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解している。	①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見だし、黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などについて考え、表現している。 ②黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化、大日本帝国憲法の発布などを関連付けたり総合したりして、この頃の政治の仕組みや世の中の様子の変化を考え、表現している。	①黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化、大日本帝国憲法の発布などについて、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

6. 単元について【児童観・指導観】

学習内容や資質・能力に関わる児童の実態	児童の実態に対する具体的な手立てや支援
・「武士の世の中へ」では、鎌倉に幕府を開いた頼朝がどのようにして武士を従えていったのかについて調べ、頼朝の政治についてと武士が勢力を伸ばすことができた理由を理解することができた。 （知識及び技能）	・想像図を並べて提示し・貴族、武士のくらしを比較し考えやすいようにする。 ・鎌倉の地図やご恩と奉公の関係図、北条政子の訴えなどを提示して、源頼朝が武士たちをどのように従えていったのかを考えるようにする。

<ul style="list-style-type: none"> ・「戦国の世から天下統一へ」では、「天下統一に向けての働きがより大きかったのは信長か秀吉か」について、どのように考えたのかを学習支援ソフトの共有ノートを使って交流した。信長・秀吉のそれぞれの働きについて確認したり、いろいろな考えを聞いて思考が広がったりすることで、最後に自分の言葉でまとめることができた。(思考力・判断力・表現力等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書(デジタルも含む)、資料集、ノートなどを活用して、資料を必ず添付することで、自分の考えの根拠にできるようにする。
<ul style="list-style-type: none"> ・「江戸幕府と政治の安定」では、江戸に幕府を開いた徳川家康は、どのような世の中にしようとしたのかを予想し、伝え合い、学習問題をつくることができた。江戸幕府がどのようにして約260年間も続いたのかについて単元を通して考えることができた。(学びに向かう力・人間性等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・室町時代頃と江戸時代の間の争いの数の比較や、江戸末期のフランス外交官の言葉を提示し、江戸時代の争いが少なかったことを捉えられるようにする。 ・資料をタブレット上に提示して、調べたり書き込んだりすることができるようにする。

7. 指導計画 【指導のポイント ㊦手立て! 配慮事項 ○他教科等との関連 ○支個別支援 ICT】

	時	○学習活動 ◆主な発問 子どもの反応	指導のポイント	評価
つかむ	1 本 時	<p>○日本橋近くの様子資料などを比べて、江戸から明治への変化について話し合い、学習問題をつくり予想する。</p> <p>◆世の中の様子を比べて変わったのはどんなところだろう。</p> <p>・乗り物がかごから馬車や人力車へ・服装が着物から洋服へ・建物が日本風から外国風へ・寺子屋から今の学校みたいに文明開化で西洋風のもものがたくさん入ってきたのだね。でも、鎖国していたはずなのに変わって。学校ができたのもこのころで、短い期間にものすごく大きく変化したのだね。明治維新ということは、江戸幕府はどうなったのかな。誰が、どうやって世の中を変えていったのかな。</p> <p>[学習問題] 明治維新では、誰が、どのように、世の中を変えていったのだろう。</p>	<p>㊦「変化したのは、風景だけだろうか」など問い掛けることで、政治や外国との関係にも変化があったことにも目を向けられるようにする。</p> <p>㊦資料をタブレット上に提示し、詳細に調べたり書き込んだりすることもできる。</p> <p>㊦教科書P103の年表やP109の学制が公布された事実などを提示し、文明開化と人々のくらしの変化についてこの時間におさえておくようにする。</p> <p>㊦わずか20～30年の間の変化であることに気付かせることで、この大きな変化を『明治維新』とよんでいることをおさえるようにする。</p>	<p>思① 態①</p>

考える・調べる	2	<p>○明治維新を進めた人々の働きについて調べる。</p> <p>◆平和な世の中だったのに、なぜ江戸幕府を倒したのだろう。</p> <p>・開国後、外国と条約を結んで貿易が始まり、物価が上がり人々の不満が高まる・木戸、大久保、西郷らは外国との力の差を実感し、強い国づくりを進めるため新しい政府をつくる運動を始める・徳川慶喜は政権を朝廷に返し、江戸幕府は終わりを告げる外国に負けない国をつくらないといけないと思ったからだね。</p>	<p>㊦1858 年に複数国と結んだ条約の内容が不平等であったことが次の小单元『世界に歩み出した日本』で問題になってくるため、ここでは日本と外国との力の差を強調しておさえておきたい。</p>	
	3	<p>○不平等条約締結後の強い国づくりを進めるための政策や、欧米に学んだ大久保利通が目指した国づくりについて調べる。</p> <p>◆不平等条約締結後、明治維新を進めた人々は、どのような国づくりを目指したのだろう。</p> <p>・開国したことにより、外国との大きな力の差を感じた西郷隆盛や、大久保利通らは新しい政府を作る運動を行い、幕府はそれに伴って政権を朝廷に返すことになったのだね。(大政奉還)</p> <p>・国の分けを変え(廃藩置県)・欧米の国々を視察・工業をさかんにする(殖産興業)・強い軍隊をつくる(徴兵令)・国の収入を安定させる(地租改正)</p> <p>欧米の国々の優れた点を学び、日本の国づくりに取り入れ、産業を盛んにし、軍隊を強くすることで国の力を強くしようとしていたのだね。でも、富国強兵が進む一方、新しい負担に苦しむ民衆の一揆も起こっていたのだね。</p>	<p>㊦明治政府が進めた政策について調べていく際に、『何のための政策なのか』という視点を意識させることで、欧米諸国に追いつこうと努力する大久保らの業績を捉えられるようにする。</p> <p>ICT Web サイトを活用して調べることができる。</p> <p>㊦制度上変わった部分を理解するとともに、制度による人々のくらしや考え方の変化にも気付くようにする。</p>	
	4	<p>○文明開化による変化について調べる。</p> <p>◆明治時代になり、文明開化によってどんなことが変わったのだろう。</p> <p>・福沢諭吉の『西洋事情』による『人間は生まれながらにして平等である』という新しい考え方・身分制度・学制・電報や郵便制度・鉄道・食生活・欧米に追いつこうという人々の意識・日本の文化を軽く見る考え</p> <p>欧米に追いつこうとして、人々のくらしが便利に変化した、長い間差別に苦しむ人への差別や女子は学校に行かなくてもよいという考え方は変わっていない。これでは、欧米に追いつけないと思う。</p>	<p>㊦変わった部分に着目した後「では、変わらなかったところは」と問い掛けることで、差別意識や男女の就学率など、人々の人権意識が変化していないことに問題意識をもたせる。</p> <p>ICT 『人々の生活は変わったのか』の意見をアンケート結果として集計し活用することもできる。</p>	知①
	5	<p>○政府の改革に不満をもつ人々の行動について調べる。</p> <p>◆政府の改革に不満をもつ人々は、どのようにして政府を変えていこうとしたのだろう。</p>	<p>㊦P110『西南戦争』と P111『演説の中止を求める警察官』の絵図を並べて板書に掲示することで、政府に対して</p>	

	6	<p>・多くの士族が武士としての収入を失い生活に困った・西郷隆盛を中心とする西南戦争や士族による反乱が各地で起こるが、すべて政府の軍隊におさえられる・板垣退助らが国会開設を主張する・やがて自由民権運動として各地に広がる</p> <p>言論で主張し、国民自らが政治に参加することで政府を変えていこうとする世の中に変わってきたのだね。</p> <p>○大日本帝国憲法について調べる。</p> <p>◆伊藤博文は、どのような考えで憲法をつくったのだろう。</p> <p>・板垣退助や大隈重信により政党がつくられる・伊藤博文は、ドイツで憲法を学び、内閣制度をつくり、初代内閣総理大臣に命じられる・天皇が国民に与えるという形で大日本帝国憲法が発布・天皇が主権をもち、軍隊を率いたり条約を結んだりするのも天皇・国会は貴族院と衆議院からなり、衆議院議員のみ国民の選挙で選ばれる・選挙権は一定の税金を納めた25歳以上の男子のみ</p> <p>憲法ができたことはよいが、天皇を中心とした憲法だったのだね。</p>	<p>武力による反乱から言論で主張する世の中へと変わっていったことを捉えやすくすることができる。</p> <p>㊦教科書政治編 P31 三権分立の図と歴史編 P113 の国のしくみの図を比較することで、大日本帝国憲法は天皇に強い権限があり、選挙権をもつ人は国民の1.1%であることを捉えやすくすることができる。</p>	<p>知①</p> <p>知①</p>
まとめ	7	<p>○調べたことを年表で振り返り、学習問題について話し合う。</p> <p>◆明治維新では、誰が、どのように、世の中を変えていったのだろう。</p> <p>明治維新では、開国をして日本と外国との力の差が大きいことを知った大久保利通、西郷隆盛、木戸孝允らが中心となり、日本を豊かで強い国にするために工業を盛んにしたり、富国強兵という政策を進めたりした。伊藤博文が大日本帝国憲法をつくり、天皇を中心とした強い国づくりを目指すようになった。また、文明開化により、人々の生活や考え方も西洋の影響を受けて変わった。そして、板垣退助の自由民権運動により、国会が開かれ国民も政治に参加するようになるなど欧米の文化を取り入れながら世の中を変えていった。</p> <p>○単元における学びを振り返る。</p>	<p>㊦年表の読み取りが難しい子どもには、年表で出来事の時系列を整理し、そこに業績を書きこんだ人物の肖像画つきのカードを並べていくことで、『いつ、誰が、どうした』を捉えやすくし、学習問題についての考えを導くことができるようにする。</p>	<p>思②</p>

8 本時について（1／7）

（1）目標

江戸から明治への変化について話し合い、自分の学習問題をつくることができる。

（2）展開

○学習活動 ◆主な発問、指示 ・児童の反応	◇支援 ＊留意点 ㊦個別支援 ㊦評価
<p>○前時までの活動をふりかえる。江戸時代をふりかえる。</p> <p>◆江戸時代には新しい文化や学問が生まれたんだっただね。</p> <p>○今日のめあてを確認する。</p>	<p>＊前時までのことを教科書や学習支援ソフトでふりかえる。</p> <p>＊次の時代が「明治」であることを伝える。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 江戸から明治への変化について話し合い、学習問題をつくろう。 </div>	
<p>○どのような資料が必要か考える。</p> <p>◆江戸から明治への変化について話し合うためにどんな資料が必要ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家が写っている写真や絵 ・服装の違いが分かる資料 ・食べ物が描かれている資料 ・江戸の終わりから明治の最初の年表もあった方がいいな。 <p>○必要な資料を集め、わかったことや疑問に思うことなどを書き込んでいく。</p> <p>◆教科書から自分で資料を選んで、分かったことや疑問に思うことを書き込みましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1860年ごろと1880年ごろの日本橋近くの資料があったので比べやすい。 ・寺子屋と小学校の様子がある。 ・年表にパンの店ができたと書いてある。食べ物も変わったのかな。 <p>○グループで考えを交流する。</p> <p>◆グループの中の誰か一人の共有ノートで交流しましょう。</p> <p>◆グループでの話し合いは黄色いテキスト内でしましょう。</p>	<p>㊦どのような資料が必要か想像しにくい児童には、板書することでデジタル教科書のどのような資料が必要か確認することのできるようにする。</p> <p>＊共有ノートの共有ロックや送るロック、書き込みロックを解除しておく。</p> <p>＊いつものように、デジタル教科書などを使用し、個人の共有ノートに貼り付け作業するように伝える。</p> <p>＊時間を確認する。</p> <p>＊資料集の資料を選ぶ場合は、学習支援ソフトのスクリーンショット機能を使うよう伝える。</p> <p>【ICT活用〈図1〉】</p> <p>＊なるべくみんなが選んだ資料を使うようにすると、時間短縮につながることを伝える。</p> <p>◇個人の共有ノートを活用して考えを共有することで、根拠やそこから考えたり想像したり疑問に思ったりしたことをつけ加えてノート</p>

◆グループの話し合いの黄色いテキストは、提出箱に提出しましょう。

○他のグループの話し合いノートを共有する。

◆他のグループの考え方も見てみましょう。

◆他のグループの考え方や自分たちが気付かなかったことは青いペンで自分たちの共有ノートに書き込みましょう。

- ・寺子屋と小学校で、明治はきちんと並んで授業を受けているということは書いてなかったな。
- ・街灯があるのは気付かなかった。

○全体交流をする。

◆これから全体交流をします。江戸から明治への変化について分かったことや疑問に思ったことはどんなことですか。

- ・1860年ごろと1880年ごろの日本橋近くの資料では、まちの様子がすごく変わった。20年の間に何があったのかな。
- ・着ている服が変化した。なぜ変化したのだろうか。誰かえらい人が最初に着たのかな。
- ・年表に「パンの店ができる」や、「野球がしょうかいされる」、「太陽暦を取り入れる」とあるから、外国から文化を取り入れたんじゃないかな。

○学習問題を考える。

◆明治維新による世の中の変化について、どのような学習問題を調べていきたいですか。

- ・外国との関係はどのように変化していったのだろうか。
- ・江戸から明治へ大きく変わったのは、誰の力が大きかったのだろうか。
- ・明治では、どのような文化が生まれたのだろうか。

を完成することができるようにする。

【ICT活用〈図2〉】

*回答共有しておく。

◇その場で回答共有することで、同じグループの人たちと話しながら共有することができるようにする。

【ICT活用】

*教科書にある資料は全て黒板に貼っておくようにする。

◇児童が発表をする時は、その班の共有ノートをテレビに映すようにする。

◇全体交流で出た意見を黒板に書く。

*理由もあわせて話すようにする。

【ICT活用〈図3〉】

変考えにくい児童には、グループの共有ノートや板書の疑問点を参考にして考えるとよいことを伝える。

*理由もあわせてかく

【ICT活用〈図4〉】

静（提出した学習問題のカード）【態①】

○学習問題を全体交流する。 ・どんな言葉が多いかな。	◇友達の学習問題を回答共有することで、全体の学習問題をつくる手がかりとする。
<div>明治維新では、どのような人々が、どのように世の中を変えていったのだろうか。</div>	

(3) 評価

【態①】	自分で必要な資料を選び、そこから分析したことや考えたことなどを交流することを通して、学習問題をつくることができる。 (学習支援ソフトカード・共有ノート)
「おおむね満足できる」状況と判断できる「発言・記述」	
<ul style="list-style-type: none"> 江戸から明治へいろいろなことが大きく変わったのは、誰の力が大きかったのだろうか。 江戸時代まで続いた鎖国はどうなったのだろうか。またどのような人が鎖国をなくしたのだろうか。 	

(4) 板書計画

明治の国づくりを進めた人々

江戸から明治への変化について話し合い、学習問題をつくろう。

江戸時代末ごろの日本橋近くの様子

明治時代初めの日本橋近くの様子

それぞれの学習問題

寺子屋の様子

小学校の様子

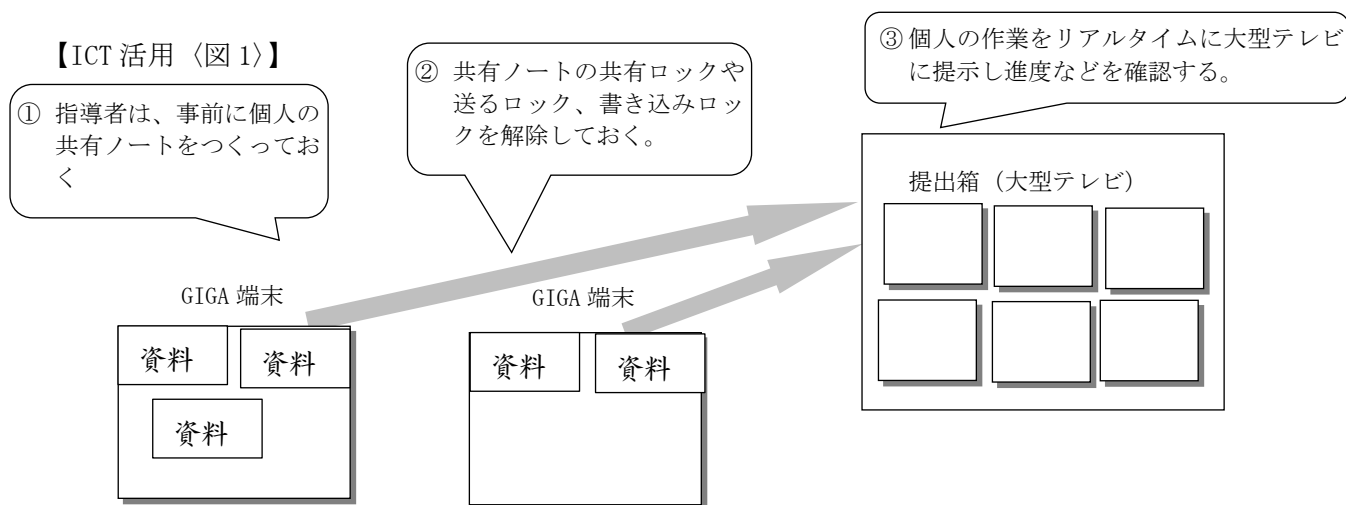
高麗家住宅

旧開智学校

学習問題

(5) ICT 活用

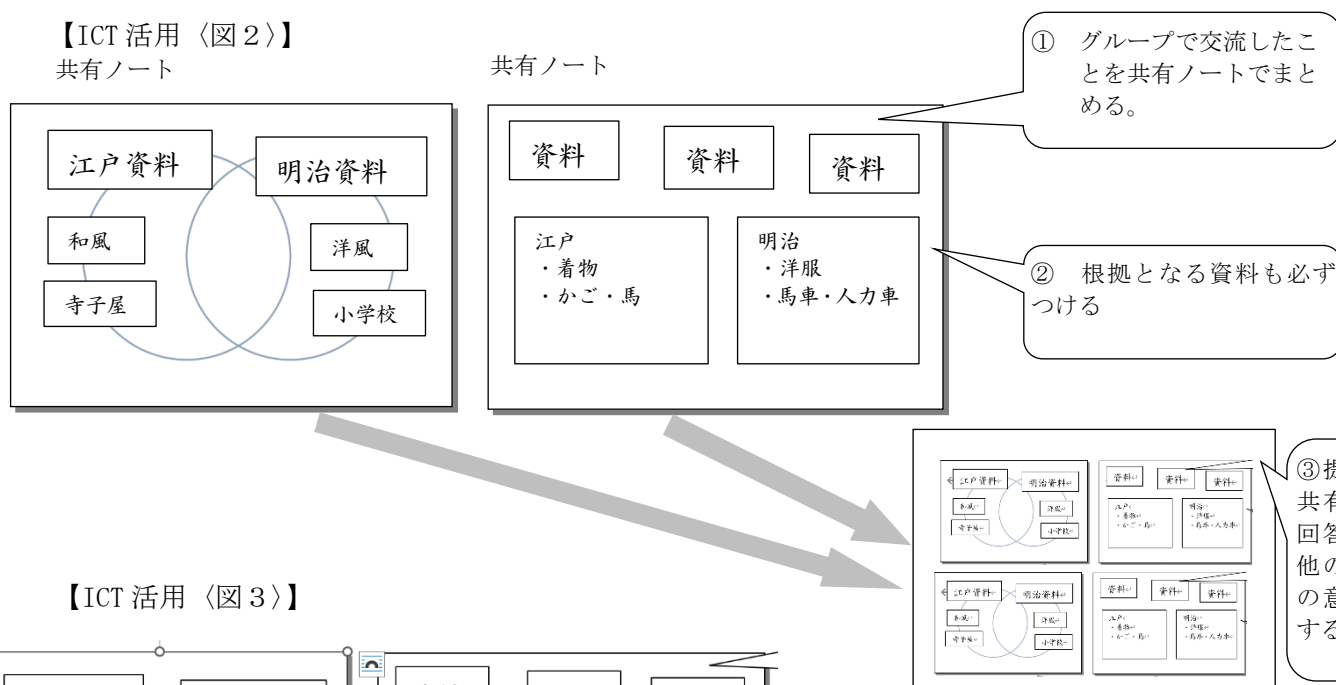
【ICT 活用〈図1〉】



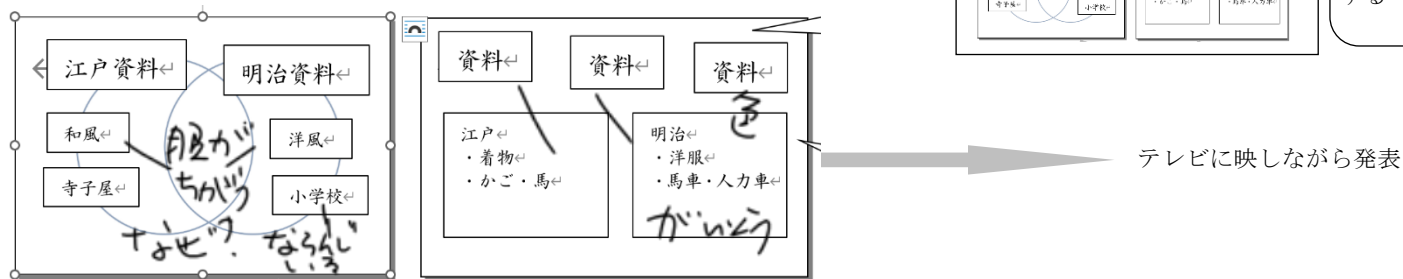
【ICT 活用〈図2〉】

共有ノート

共有ノート



【ICT 活用〈図3〉】



【ICT 活用〈図4〉】

江戸から明治へいろいろなことが大きく変わったのは、誰の力が大きかったのだろうか。

テレビに映しながら発表